

# 学校 だより 郷音ひびき

第103号  
令和5年6月  
発行  
山崎西小学校



## 「念願は人格を決定す」

### 継続は力なり」

教頭 田路 康幸

山崎西小学校でお世話になり、二ヶ月が過ぎました。教頭としての仕事をしていると、児童の皆さんと直接ふれあう機会は多くありません。しかし、朝、子どもたちが登校して職員室前を通る時の明るく、優しさにあふれた挨拶に元気をもらい、毎日を気持ちよくスタートすることができています。

さて、私はこれまでの人生の中で、多くの言葉、格言、名言にであってきました。中でも大切にしている言葉があります。

それは、「継続は力なり」という言葉です。皆さんの中にも、聞いたことがあるという人が多いのではないのでしょうか。「継続は力なり」はどんなに小さな努力でも、怠けずに地道に積み重ねていけば、やがて大きな成果を上げることができる、といった意味でよく知られています。実は、この「継続は力なり」の前に、「念願は人格を決定す」という言葉がつくのです。その前の言葉、「念願は人格を決定す」私はこれを、まず念願（願い）をもちなさい、その願いがあなたの人格（信念を持つた自分）を作るのです、と捉えています。何事も努力を続けることはそう簡単なことではありません。ましてや、なかなか成果の出ないことに対してはすぐに怠けてしまうのが人間です。だからこそ、何のために努力するのか、いわゆる（目標・夢）をしつかりともつことが大切であると思います。それが、

自分の信念となり、目標に向かって努力を継続することができる、と考えています。

小学生の皆さんは、これから様々なことであれ、本当にやりたいことや、なりたい自分を見つけていくこととなります。ゆつくりで良いので、明確な目標や夢をもてるようになることを願います。目標・夢がはつきりすれば、それを実現させたいという信念が生まれ、必ず努力を続けることができるようになります。途中でくじけそうになっても、信念が強くもてていけば諦めずにがんばることができるとは、是非、信念を貫き努力を継続できる人になってください。

子どもたちが何かに取り組んでいる様子は、大人から見ると、時として「本当に努力しているの?」「もっと真剣にやらないと!」と不満に思うことがあると思います。しかし、子どもたちには個人差があります。それぞれに目標や夢をもち、がんばっている子ども達の姿はありませぬ。結果だけを評価の基準にするのではなく、その子の信念と努力の過程を見守り、支えてやるのが大人の使命であると考えます。

これからも、教職員、保護者、地域が一体となって、山崎西小学校の子どもたちのがんばりを支えていける校区を目指して勤めることが、私の目標です。保護者の皆様、地域の皆様、素晴らしい山崎西小学校の子どもたちとともに育んでいくためのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 今年度の学習の取組み

学習指導担当 春名 かおり

新年度がスタートし、早や二ヶ月半、一学期も残り少しとなりました。子どもたちは新しい学年での学習や生活に慣れ、元気に過ごしています。授業中や休み時間には、楽しそうな声がたくさん聞こえ、とても嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類」に移行され、さまざまなことがコロナ前の状況に戻る中、コロナ禍を転機とし大きく変化したこともあり、その一つが「ICT教育の推進」です。

「Society 5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。」

「この新たな教育の技術革新は、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びにも寄与するものであり、特別な支援が必要な子供たちの可能性も大きく広げるものです。」

これは、令和元年に出された当時の文部科学大臣からのメッセージです。

一人一台タブレット端末が整備されてから、本校では、各学年の学習課題や内容に応じた活用を進めてきました。昨年度末からは「ロイノート」が導入され、ますます活用の幅が広がっています。本年度は、研修目標を『自ら学びに向かい、高め合う子どもをめざして』主体的な学びとなる ICT 機器の効果的な活用ととし、どのように活用すればより子どもたちの学びにつながるのか、職員一同研修を進めていきます。

また、「中一ギャップ」の解消に向けて、山崎小学校・山崎西中学校と連携し、学習環境や学習の流れなどを統一していきます。学校間での大きな違いをなくすことで子どもたちがスムーズに中学校での学習に入れるよう、準備を進めていきます。

子どもたち一人ひとりを大切に、自ら学びに向かい高め合うことのできる授業作り、学級作りを進めて参ります。今後とも、ご理解・ご支援をよろしく願います。

## 6・7月の行事予定

### 【6月】

- 15日 (木) 耳鼻科検診
- 21日 (水) プール開き
- 22日 (木) PTA 本部役員会・理事会
- 24日 (土) 創立記念日
- 28日 (水) 講師招聘校内研究授業
- 29日 (木) 歯科健康教室2・5年生
- 30日 (金) ファミリー読書・上靴洗濯日  
市教育委員会学校訪問

定時退勤日 毎週金曜日：16・23・30日

### 【7月】

- 7日 (金) 1年生親子給食  
PTA 授業参観日  
心肺蘇生法講習会  
自治会別懇談会
- 14日 (金) 給食最終日
- 17日 (月) 海の日
- 18日 (火) 午前中授業
- 19日 (水) 午前中授業
- 20日 (木) 第1学期終業式

定時退勤日 毎週金曜日：7・14・21・28日



# 五年生 自然学校特集

今年の自然学校の目標「挑戦・協力・向上」に  
そってふり返りをしました。

〇〇〇〇  
僕が挑戦したのは、カヤックです。僕は一人  
で乗るのは初めてでした。乗ったらすぐく  
グラグラしたけど、がんばってこいだのが挑  
戦だと思いました。

僕が協力したと思ったのは、アマゴのつか  
み取りです。つかめていない人が、つかみや  
すくなるよう追いこんだり、アマゴの場所を  
教えたりしたのが協力だと思いました。

僕が向上したと思ったのは、時間におくれ  
ないようになつたことです。自然学校に行く  
としおりに見て自分たちで動くことが多かっ  
たので、これからも時間を守ってすこしい  
です。

〇〇〇〇  
僕が挑戦したと思うことは、カヤックです。  
僕は自然学校の中で初めてカヤックをし  
ました。最初はグラグラして不安で早く帰ら  
いとばかり考えていたけど、三十分位経たら  
すっかり楽しくいきました。

協力できたと思うことは、アマゴのつかみ  
取りです。つかめていない子がいたらみんな  
でアマゴを探していたので協力できたと思  
いました。

成長したと思うことは、時間をきっちり守  
れるようになったことです。はじめは、先生  
や指導員さんに声をかけられてから動いた  
りすることあつたけど、最後は自分たちでし  
っかり動くことができるようになりました。  
これからの生活でも生かしていきたいです。

〇〇〇〇  
梅おにぎり食べました。酸っぱかったです。  
鮎掴み(アマゴつかみ)で、晁至先生と協力  
しました。

楽しかったことはカヤックで、パドルの動  
かし方で右に曲がったり左に曲がったり止ま  
ったりできました。外は暑かったけど、水が  
冷たくて気持ちよかったです。  
お風呂が大きくて気持ちよかったです。

〇〇〇〇  
一番挑戦したと思ったのは、カヤック体験  
の時です。理由は、初めてのことで緊張した  
けど、やってみたらとても楽しく感じたから  
です。

一番協力したと思ったのは、東山登山の時  
です。理由は、みんなが声をかけ合っていて、  
とてもいいと思ったからです。

一番向上したと思ったのは、自分で布団を  
しいたことです。理由は、普段親がしてくれ  
ていることを自分自身でして、大人に一步近  
づいたと思ったからです。これからも、自分  
でできることを増やしていきたいです。

〇〇〇〇  
私が挑戦したと思ったのは、カヤックです。  
理由は、カヤックに乗るのは初めてだったか  
らです。最初から最後までカヤックから落ち  
ずに出来たことと、みんなならんで集合写  
真をとったことが、楽しかったし嬉しかった  
です。

協力したと思ったことは、アマゴつかみで  
す。理由は、あまごをまだつかんでいない子  
がいたら、とれている子がアマゴを探してあ  
げたり、アマゴを取りやすいように手で囲い  
を作ったりあげたりしていたからです。  
向上したと思うことは、服とかを上手にた  
ためるようになったことです。自然学校に行  
く前は、きれいにたためなかつたけど、自然  
学校に行つた後は上手にたためるようにな  
りました。

〇〇〇〇  
挑戦は、一人で自分のことをするのは初め  
てだったのでこれが挑戦になりました。  
協力は、アマゴつかみでできました。なぜ  
かというと先につかまえた人が、上から、  
「ここにいますよ。」  
と、アドバイスをくれたからです。ほくもつ  
かまえることができました。

向上は、さつきいって挑戦のことです。自  
分のことは自分でできるようになつたので、  
これからの生活に生かしていきたいのと、次  
は人が困っているときに助けてあげて、また  
向上したいです。

〇〇〇〇  
挑戦したことは、カヤックです。理由は、  
始めの方はパドルでこぐのが難しかったり、  
カヤックのそう作が難しかったりしたけど、  
あきらめずに挑戦できたからです。

協力したことは、アマゴのつかみ取りです。  
理由は、まだアマゴをつかまえていない  
人に、もうつかまえている人がアマゴを探し  
てあげていたり、二、三人ですみに追いつめ  
たりできたからです。

向上したなと思うことは十二人みんなで何  
事にも挑戦できたことです。カヤックなど初  
めてのこといろいろ挑戦したので、またこ  
れからも十二人で協力しているんなことに挑  
戦していきたいです。

〇〇〇〇  
挑戦できたと思うことは、アマゴつかみの  
後で、魚をさばいたことです。初めは、さば  
くの見るだけでも怖かったけど、がんばっ  
てさばいたからです。

協力できたと思うことは、荷物を部屋に忘  
れないように、確認し合つたことです。しお  
りを見て、  
「〇〇ある？」  
と声をかけて、他の人の事も考えていたので、  
協力できているなと思つたからです。

成長したと思うことは、荷物の準備をした  
り、時間を確認したり、自分の事をだいた  
いだけ自分でできるようになつたことです。

〇〇〇〇  
僕にとつて挑戦したことは、カヤック体験  
です。初めは、とつても難しそうだなと思  
つていたけど、カヌークラブの人に、こぎや  
すいこぎ方などを教えてもらつたから、落ち  
てもいいから挑戦だ、という気持ちで挑戦し  
ました。すると、うまくこげたので、挑戦し  
て良かったという気持ちになりました。

僕にとつて協力できたことは、登山で前  
の人や後ろの人が足がすべつてこけた時に、声  
をかけあえたことです。僕がこけた時や、他  
の人がこけた時に、お互い声をかけあつてけ  
がをしてないか確認した後、ほつとした気持  
ちになりました。

僕にとつて成長できたことは、服などの整  
理がうまくできるようになつたことです。僕

〇〇〇〇  
の家の机はぐちゃぐちゃで、いつも机が物で  
うまっています。でも、自然学校でできたか  
ら自分の家でもできると思っているの、う  
まく整理をして自分を向上させたいです。

〇〇〇〇  
私が特に挑戦出来たと思つた事は、家族と  
離れて生活する事です。四泊五日も家族と離  
れて生活する事は初めてだったので、それが  
私の挑戦になりました。

私が特に協力出来たと思つた事は、東山登  
山です。東山登山では、少し遅れていた子や  
こけてしまった子に、みんな優しく声をか  
けていていいと思つきました。

最後に、私が特に向上出来たと思つた事は、  
いろいろな事に挑戦し、五年生のみんなやリ  
ーダーさんのみんなで協力できたことです。  
これからも、その挑戦や協力を生かしたいと  
思います。

〇〇〇〇  
私が挑戦したと思つたのは、アマゴをさば  
いたことです。やる前は、難しそうだなと思  
つたけれど、さばいてみたら楽しかったです。  
協力したことは、カヤックで、集合写真を  
とる時です。みんなが集まるのは大変だつた  
けど良い写真がとれました。

成長したと思つたことは、いろいろなこと  
に挑戦したことです。だから、これからもど  
んどん挑戦していきたいと思つています。

〇〇〇〇  
僕が一番挑戦したと思うのはカヤックです。  
カヤックは、初めてでどう乗ればいいのか分  
からなかつたけど、最終的には分かつたので、  
挑戦だと思つています。

協力したことは、アマゴつかみの時に、ま  
だアマゴをつかめていなかった子のために、  
取れた子は陸の方からアマゴを探していたこ  
とが、僕は協力だと思つています。

〇〇〇〇  
僕が向上したと思つたのはカヤックです。理  
由はカヤックをやつたことがなくて、何をし  
たらいいかわからなかつたけれど、最終的に  
はとつともうまく乗れるようになったので、  
カヤックの技術が向上したと思つています。